

# HOSPITALITY



横浜YMCA学院専門学校 作業療法科ニュース

2011年11月29日発行

## HOSPITALITY

「ホスピタリティー」とは、互いの命や存在意義を理解し、認め合い、共に生きていくこと、またそれを実践する精神をいいます。私たちYMCAは、そうした精神を身につけた作業療法士を養成したいと願っています。

## 卒業研究発表会

10月29日(土)、卒業研究発表会を行いました。各々関心のある内容をテーマとし、文献研究や実験研究を通して、卒業論文を作成しました。

発表前の4年生は、緊張している様子が伺えましたが、堂々とした立ち姿で発表をしていました。聴講者からの質問にも丁寧に返答し、発表が終わるとホッとした表情を浮かべる学生が多く見受けられました。



研究結果を発表する4年生



フロアの質問に丁寧に返答

## 卒業論文 研究テーマ

今回作成された卒業論文のテーマの一部を紹介します。

- ・麻痺の程度に合わせ適応した筆記具の把持パターンを検討する
- ・脳卒中患者の自動車運転の現状と 作業療法士の今後の課題
- ・マニキュア動作中に観察された手指機能の特徴
- ・終末期がん患者とその家族に対するアプローチ
- ・単身高齢者に対する作業療法
- ・AD/HD児の母親への支援
- ・特別支援教育における巡回相談
- ・精神障害者に対してのイメージ研究
- ・統合失調症患者に対する退院支援 など...

「卒業研究発表会」として、全体で卒業論文の発表を行ったのは、今年度が初めての試みです。今回の卒業研究発表会には、全学年が参加し、それぞれが関心のある研究テーマを聴講しました。各学年から多くの質問や感想があがり、学びの多い発表会でした。

卒業生の参加もあり、作業療法士の先輩としての、アドバイスや助言を頂きました。



作業療法科 4年 田中 千鶴さん  
(国立音楽大学出身)

私は、「脳血管障害リハビリテーションにおけるピアノ演奏の活用」をテーマに文献研究を行いました。以前音楽講師をしていた際に、脳血管障害の後遺症で麻痺のある方のピアノレッスンを担当しました。その経験から、ピアノ演奏をどのように用いることができるか明らかにしたいと思い、テーマとして選びました。

発表前日に行ったプレゼンテーションのリハーサルでは、担当の先生から研究内容をわかりやすく伝えるための方法や、図表の紹介の仕方など、実践的なアドバイスを頂きました。頂いたアドバイスを元に、大きな譜面や鍵盤の図を用いてホワイトボード上でのプログラムの実演を取り入れました。当日参加して下さった卒業生にも、関心を持って頂けたことが嬉しかったです。

最後に、卒業研究は授業であると同時に、卒業後に自分が何をしたいのかを再確認できるきっかけであったと思います。卒業研究を通して脳血管障害のリハビリテーションに携わりたいという思いが、より一層強くなりました。



**作業療法科 4年 南條 玲子さん**  
(湘北短期大学出身)

私は「Duchenne型筋ジストロフィーの障害受容」について文献研究を行いました。発達過程で障がいと向き合わなくてはならない場合、どのような心理過程を経るのか、支援者はどう関わるべきかを学びたいと思い、このテーマを選びました。

様々な文献を調べていく中で、発達過程で難病と向き合う対象児の心理的变化に触れることが出来ました。最も印象的だったのは、Duchenne型筋ジストロフィー患者の人生を振り返る意識調査の結果、小学校低学年の頃が最も辛い時期であったと感じていることでした。歩行困難や入院など、ショックな出来事が重なり、出来ないことが増えていくためだと考えます。

卒業研究発表会では、各テーマについての知識が深まり、発表を聞くことで新しい発見もありました。それぞれ8週間かけて作成した論文を聞くことで、視野が広がったように感じます。また、卒業生の方々にもお越し頂き、現場と関連づけた意見や感想を伺うことができ、学びの深い会となりました。卒業後、また違う立場で、この卒業研究発表会に参加できたら嬉しいです。



**作業療法科 4年 安田 昌宏さん**  
(県立茅ヶ崎高等学校出身)

私は「楽器演奏がもたらす楽しさ」をテーマに、在校生を対象に調査研究を行いました。関心のあった楽器演奏について作業療法場面で用いる場合、

どのような楽しさの要素を活かし、また留意して活用していくことができるかを調べたいと思い、テーマを選びました。調査で明らかとなった楽器演奏の楽しさは、達成感や一体感など、楽器演奏時の雰囲気の良いことや満足度からなるものでした。作業療法の場面で用いる際にも楽しめる雰囲気を重視し、楽しくない要因と考えられる緊張感を与えてしまうようなことは、配慮する必要がありますと、改めて学ぶ機会となりました。

今年から卒業研究発表会として、在校生だけでなく卒業生をお招きし、発表する機会を得ることができました。在校生を対象とした調査研究を行ったこともあり、アンケートに協力してくれた学生にも研究結果を踏まえ、発表できたことはとても意義のあることだったと思います。作業療法士として臨床に出た際に、他者により分かりやすく伝えることや説得力、そして人に関心を持ってもらえるような話術がとても重要な要素だと思います。その事前準備として学ぶことの多い、卒業研究発表会となりました。

# 学びを今後の臨床の場に 次に活かせる自発的学習



学生は皆、メモを取りながら真剣な面持ちで発表を聞いていました。今後の学習に活かすことのできる発表でした。



## 講評

専任講師の先生や卒業生から、講評をいただきました。

- ・卒業論文のテーマを決める際の動機をもう一度思いおこしてほしい。そして、研究で学んだことを今後の学びに活かしてほしい。
- ・質問も多く、聴く側の態度が良かった。
- ・演習A（卒業論文作成）では、自発的な学習が見られました。得た情報を学生同士、シェアしてほしい。
- ・時間の使い方や進行がとてもスムーズだった。臨床に繋げていきたい発表内容が多かった。
- ・今回行った研究を、臨床に出た際に更に深め、学んでほしい。

## 作業療法科 願書受付中

全日程ですべての入学試験区分受験可能！！

※ただし給費生入試・社会人給費生入試を複数回受験することはできません

本校は、厚生労働省指定の作業療法士養成施設です。また、WFOT(世界作業療法士連盟)の認定校でもあります。

卒業と同時に作業療法士(国家資格)の受験資格が得られます。

横浜YMCA学院専門学校 作業療法科

〒231-8485 神奈川県横浜市中区常盤町1-7

TEL: 045-641-5785 / FAX: 045-664-4018

e-mail: ymgakuin@yokohamaymca.org

HP: <http://yokohamaymca.ac.jp>